

# バーコード

ウォーキング、ジョギング、ランニングの参加者を記録するために、当日は印刷したバーコードを持参してください。フィニッシュ後にボランティアの係がスキャンします。グローバル統一のルールは

「印刷されたバーコードなし、タイムなし、例外なし」

というもので、すべてのイベントにおいてこれを遵守することが重要です。

parkrunに登録すると、バーコードを印刷する画面が出てきます。そこには、参加記録を受け取るためには印刷されたバーコードを提示しなければならないこと、スマホやタブレットその他のデバイスに表示されたバーコードは受け付けない事を記載しています。

紙、キータグ、リストバンドなどに印刷されたバーコードのみ受け付けています。印刷されたバーコードを持参することは、2008年以来、parkrunの基本となっており、参加者に負担をかけることなくイベント終了後すぐに正確な参加記録をお届けする事に役立っています。

「印刷された」バーコードを求める他の理由は何ですか？

- バーコードには参加者の名前が記載されているので、これが人と人とのつながりやコミュニティの構築に役立っています。
- 印刷されたバーコードには、緊急連絡先(ICE)の電話番号が記載されています。参加者の名前と緊急連絡先に迅速にアクセスできるようにすることで、必要に応じてこの情報を使用し参加者の安全を確保することができます。
- デジタルデバイスに表示されたバーコードを許容すると、スキャンの時間が大幅に延長されると考えています。



印刷したバーコードを持ってこない参加者がいたら、どうすればいいですか？

すべてのイベントがお互いにサポートし合うことはとても重要です。腕時計やスマホに表示されたバーコードをスキャンしたり、バーコードを忘れた人のタイムをマニュアルで追加はしないでください。

印刷したバーコードを持って来たのに、スキャンできない場合は？

スキャンできないバーコードをボランティアが書きとめ、マニュアルでデータを入力することは全く問題ありません。バーコードが泥だらけだったり、汗で濡れていたり、擦れていたり、スキャナーが読み取れない場合もあります。参加者がバーコードを持っていれば、ボランティアはその参加者の名前を追加することができますが、その参加者には次回のイベントのためにバーコードの再印刷をお願いし、場合によってはparkrunのキータグ、カード、リストバンドをお勧めしてください。